

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	23	【思いや意向の把握】 ご本人の希望や意向を十分に把握し、それを把握した上で介護計画的に確実に取り入れられているか今一度見直してみたい。 職員の利用者へのかかわり方や言葉かけ等を工夫し、これまで以上に、利用者個々の思いや意向を探り、その情報を蓄積して、ご本人主体の介護計画につなげていくことはできないだろうか。	日々の記録や申し送りに、ご本人から聴き取った希望や意向、思いを確実に書き留める。そのことで、利用者ご本人主体の介護計画の作成へとつなげていく。	ご本人から希望や意向が把握できる様、常々お話しを伺う機会を設け、その思いを傾聴する。 日常的な会話や どうかご本人の希望や意向を、確実に個人記録(必要であれば申し送りにも)を通じて記録として残す。 経過記録作成時にも、その部分をきちんと書き出し、次回ケアプランの作成につなげる。	12 か月	
2	40	【食事を楽しむことのできる支援】 現在、事業者の食事は、事業所でご飯を炊いて、その他は外注している。利用者やご家族の希望で外食をしてお好きなものを食べるような機会もあるが、日々の中で利用者が好みのものを食べることができるような機会が少ないため、そうした機会を増やしていくことは出来ないだろうか。 又、食事作り一連を通じて利用者の役割や出番を作っていく方策を練れないだろうか。	ホームの食事支援について、内部・外部で意見交換を行う。	内部(職員間)において、食事面での利用者それぞれの現状、現存する能力、また、その意向について意見交換を行い、それらについてまずは職員間での認識を統一した上で、食事支援について、今後どの様にあるべきか話し合いを行う。  の話し合いを踏まえて、運営推進会議において、食事支援について議題に取り上げ、参加者(外部の方、ご家族等)の意見を伺う。	6 か月	
			意見交換を通じて、食事支援のあり方を見直すかどうかを話し合い、決定する。	意見交換の場では出た意見を踏まえて、現在の食事支援のあり方について、見直すべき点はあるか否か、また、見直す場合はその方策等について具体的に議論し、決定する。	12 か月	
3	20	【馴染みの人や場との関係継続の支援】 利用者の友人や知人からお手紙や年賀状等が来ると、これまでのご本人がお返事を書いておられたが、お返事することが難しくなってきた方もおられる。職員のサポートでやり取りを続けることができるよう支援に工夫はできないだろうか。	馴染みの関係が継続できる様、利用者ご本人の希望をくみ取り支援していく。	利用者ご本人及びご家族と連携をとって、ご本人の交友関係等について把握し、具体的な支援のあり方について話し合う。 ご利用者の友人や知り合い等がホームに面会に来られた際や、電話を受け継いだ時には、その方の連絡先をお聞きし、記録に残す。 例えば、毎年賀状のやり取りをされている友人・親族等がおられるか職員がきちんと把握した上で、おられる場合は、ご本人の負担なくそのやり取りが続けられるよう、必要に応じた支援を行っていく。	3 か月	

### サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		(該当するものすべてに 印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="checkbox"/>	運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="checkbox"/>	利用者へサービス評価について説明した
		<input type="checkbox"/>	利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="checkbox"/>	運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="checkbox"/>	その他( )
2	自己評価の実施	<input type="checkbox"/>	自己評価を職員全員が実施した
		<input type="checkbox"/>	前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="checkbox"/>	自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="checkbox"/>	評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="checkbox"/>	その他( )
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="checkbox"/>	普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="checkbox"/>	評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="checkbox"/>	対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="checkbox"/>	その他( )
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="checkbox"/>	運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="checkbox"/>	利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="checkbox"/>	評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="checkbox"/>	運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="checkbox"/>	その他( )
5	サービス評価の活用	<input type="checkbox"/>	職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="checkbox"/>	その他( )